



mottainaiを体感 子ども食堂プロジェクト



生活科学科 高野未紗・佐藤結姫・和田夏未 (指導 中西朋子)



目的

「子どもが一人で安心して来られる無料または低額の食堂」である子ども食堂は、食事を提供するのみならず、安心して他者と触れ合うことで経験値を向上させることも目的とされている。そこで、本学において1日限定の子ども食堂をオンラインで開設し、クイズ形式で楽しく食育を学んだ後、一緒に折り紙をして、普段触れることの少ない日本の文化に触れ、少しでも興味を持ってもらうことを目的とした。

方法および結果

<p>イベント概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初めの挨拶 2. 食育クイズ 10問 3. 折り紙 鶴→バタバタ鶴→菓子箱 4. 終わりの挨拶 	<p>当日の様子</p>	<p>こたえかた</p> <p>・今から出す問題の正解だと思うほうを選んで、 👍 か 🍷 をおして、こたえてください</p> <p>例) ピーマンの味は？</p> <p>👍 苦い 🍷 甘い</p>	<p>だいもん</p> <p>げんきな体を作るためには、一日にどのくらいの野菜（やさい）を食べることが必要でしょうか？</p> <p>👍 100~200グラム 🍷 350~400グラム</p>
--	---------------------	---	---

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響から、対面で開催することは困難であった。そこで、オンラインで開催した。参加者の心理的負担を減らすために、参加者には画面および音声はオフの状態での参加を依頼した。「食育クイズ」は、参加者に対して、zoomのリアクションボタンを活用していただき、クイズへの参加を依頼した。

<p>折り紙の様子</p> <p>手元を写すカメラ</p> <p>手元を写しながら説明</p>	<p>参加者の皆様の感想</p> <p>オンラインでもクイズに参加できて楽しめました。折り紙は久しぶりでしたが、zoomの画面に折っている様子が写っていたので、折り方が分かりやすかったです。</p> <p>オンラインで分かるかな？と思いましたが、クイズ、折り紙ともに参加型であった点がとてもよかったです。</p> <p>小学生が対象、ということでしたが、小学生にとっては少し長いかなと感じました。クイズを多めに、全体の時間は短くするといいかも！</p>
--	---

オンラインでの「折り紙」は、かなり苦戦した。しかし、画面に手元を大きく映しながら、折り方をゆっくりと丁寧に説明すること、スタッフも説明に合わせて折り紙を折り、「ここは難しいですね」や「皆さんどうですか？」などと適宜声をかけることで、オンラインでも折り紙を折ることができた。オンラインイベントで折った折り紙以外にも数点の折り方を載せた別冊を作成し、希望者に配布した。

考察

- 参加者とのコミュニケーションが不十分になってしまうことから、対面で実施することが望ましい。しかし、工夫次第でオンラインでも開催可能であった。
- コロナ禍にあり、集まるのが難しい昨今でも、重要な意義のある子ども食堂は開催すべきではないかと考えられる。

本プロジェクトの学生への影響

- オンラインで開催するための工夫について、学生が主体的にアイデアを出し合って進めた。その結果、各自が主体性をもって取り組むことができた。
- 参加者からのご意見から、やりがいと気づきが生まれた。

本プロジェクトは、イベントに参加してくださった皆様にご協力いただいたことによって実施することができました。厚く御礼申し上げます。
本プロジェクト資金および学内のご関係の皆様にご多大なるご助力を賜りました。心よりお礼申し上げます。